

中国と極左勢力が暗躍する世界リセット、日本経済のリスクと勝機を緊急提言！

『南北戦争か共産主義革命か!? 迫りくるアメリカ悪夢の選択』

(著者)宮崎正弘 渡邊哲也

(価格)1400円+税 〈発売日〉2021年3月3日 〈出版元〉ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍「南北戦争か共産主義革命か!? 迫りくるアメリカ悪夢の選択」を2021年3月3日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

◆狙いはバイデン大統領の失脚か！

- ◎異端のMMT(現代貨幣理論)が世界の常識に
- ◎米国版文化大革命で分断か戦争か
- ◎トランプで割れる共和党、極左で分裂する民主党
- ◎ついに「独裁企業」の本性を顕わにしたGAFA
- ◎バイデンの政策は文在寅と同類
- ◎トランプ敗北、また敵と味方を間違えた米国人
- ◎アリババ帝国崩壊で自滅する中国経済
- ◎米国混乱が世界に飛び火
- ◎日本の代わりにドイツが中国を助ける
- ◎アリババと共に倒れのソフトバンクG
- ◎ジャック・マーの日本への影響は大きい
- ◎「2050年 脱炭素」という時代が本当に来るのか
- ◎日本の半導体企業が中国から制裁を食らったら
- ◎「ワクチン株高」は続かず、ウォール街から下落へ
- ◎中国依存という日本企業の蟻地獄
- ◎イスラエルの国家意思を見習え

【もくじ】より

はじめに アフター・コロナ、世界リセットの衝撃——宮崎正弘

第1章 米国版文化大革命で分断か戦争か 第2章 アリババ帝国崩壊で自滅する中国経済

第3章 日本経済 5 大リスクと勝機 第4章 コロナで見えた日本の大問題

おわりに 歴史は振り子のように揺れ——渡邊哲也

◆著者

宮崎正弘(みやざき まさひろ) 評論家

1946年金沢生まれ。早稲田大学中退。「日本学生新聞」編集長、雑誌『浪漫』企画室長を経て、貿易会社を経営。82年『もうひとつの資源戦争』(講談社)で論壇へ。国際政治、経済などをテーマに独自の取材で情報を解析する評論を展開。中国ウォッチャーとして知られ、全省にわたり取材活動を続けている。中国、台湾に関する著作は5冊が中国語に翻訳されている。

渡邊哲也(わたなべ てつや) 作家・経済評論家

1969年生まれ。日本大学法学部経営法学科卒業。貿易会社に勤務した後、独立。複数の企業運営に携わる。インターネット上の欧米経済、アジア経済などの評論が話題となり、2009年に出版した『本当にヤバイ！ 欧州経済』(彩図社)がベストセラーとなる。内外の経済・政治情勢のリサーチ分析に定評があり、様々な政策立案の支援から、雑誌の企画・監修まで幅広く活動を行う。

【お問い合わせ先】株式会社ビジネス社 広報担当:松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。

